

佐藤 生稔



市政の基本理念

質問

「意識改革と市民協働」を改革の両輪にすえ、財政の健全化を図らなければ、真のまちづくりはできないと考えるがどうか。

答弁 市長

厳しい財政状況から、行政の役割の明確化と重点化が今後の重要な論点と考える。

市民と共に知恵を出し合い、汗を流そうとの意識改革が必要です。

市民の目線に立って対話を重ね、信頼関係を構築し、「市民が参加する協働・共創のまちづくり」を目標とします。



指定管理者制度を導入している「道の駅みえ」

指定管理者制度

質問

制度の導入には、「公の施設」は何のために、誰のためにあるのかという基本的な問いかけと同時に、民営化や廃止を含めた総合的な検討と議論を深める必要があると考えるがどうか。

答弁 市長

この導入は、住民サービスの観点、行政改革の立場からも重要な課題です。

いわゆる「公の施設」の数は218で、管理費は人件費を含め19億6千万円です。

現在、管理運営を委託し

ている観光・福祉施設が59あり、18年4月をめどに制度の導入に向けて条例の整備など準備を進めています。民間能力の活用という法改正の趣旨を踏まえ、市の出資法人などを改めて検証し、廃止、統合を含めた総合的な見直しを行政改革審議会などで十分に協議していく考えです。

佐藤 辰己



周辺地域に活力を

質問

市政座談会の結果と今後の対策は。

答弁 市長

財政に対しての厳しい意見、地域が寂れるのではないかと不安、中心部への道路網整備の要望など貴重な意見をいただきました。地域における活力の維持・

増進が今後の市政運営の重要な課題であり、行政改革を推進しながら生きがいの持てる事業展開を行っていきます。

質問

第1回豊後大野市ふるさと振興祭の評価は。

答弁 企画部長

「さあ、はじめよう協働のまちづくり」をキャッチフレーズに旧町村単位で実施しました。

今後は、ふるさとの振興と新市としての一体感のある祭りとなるよう検討します。

取り組め!

農業基盤の確立

質問

地域水田農業ビジョン策定は。

答弁 産業経済部長

将来方向を明確にした農業ビジョンによる産地づくりが大切です。

各関係機関が一体となって取り組み、策定後は、各集落規模の座談会を検討しています。

在校生の不安解消を

質問

三重高校・三重農高・緒方工高の在校生に対する支援策を考えては。

答弁 教育長

今後、学習・体育の環境が大きく変わり、不安な面があると思われるので、進路指導を含め支援を行っていききたいと思います。

※その他

長期総合教育指針の確立について



ただいま授業中…。(三重高校1年2組)